

第 1 回中道北小学校移転 住民説明会 会議録

日	時	平成 27 年 11 月 10 日 (火) 午後 7 時 00 分～8 時 30 分		
場	所	中道公民館 会議室	当日参加者数	91 人
甲	府	市	樋口市長	
教	育	委	員	会
		平賀委員長・長谷川教育長・数野教育部長・石川教育総室長・神宮司総務課長・高村学校教育課長・櫻林学事課長・田邊教育施設課長手・田村総務課課長補佐・村田総務課課長補佐・土橋総務課係長・山本総務課主任		
地	区	関	係	議
		員等 土橋県議、池谷市議会議長、鮫田市議、大木地区自治連会長		

1 開会

中道北小学校についての教育委員会の方針は同一学区内での移転を目指すこと、適切な場所に移転するには地元と協議しながら候補地を選定する必要があるため、北小の通学区域の皆さんの意向を聴取する目的で、今回の説明会を開催したこと等を説明。

2 市長あいさつ

3 委員長あいさつ

4 移転についての説明

5 移転候補地についての意見聴取

(1) 上曾根

防災拠点としては、下曾根は笛南中、上曾根と白井は北小になっている。

8月に防災訓練を実施した際、徒歩で集合したが、遠いという意見が出た。

移転に当たっては、自治会の比率を考慮して欲しい。

下曾根が 259 世帯 (H27 名簿では 260)、白井と上曾根を合わせて 594 世帯で、比率的にははるかに多い。

(1-1) 遠くの方はマイクロバスなどを出し、白井や文殊など突出して自治会員数の多い地域に配慮した候補地として欲しい。

(1-2) これから意見を聴いて決めていくということだが、この後どのようなプロセスを経て決めていくのか。

(1-3) 周辺の自治会役員などと話をした中で、笛吹川の増水など水害の恐れなどを考えた場合、勝山という史跡を切り開いて利用すれば、水没の恐れがないのでベターではないか。

回答

(1-1) 通学用バスの運行については、通学区域の中で大きな差があるという状況ではないので、直ちに回答するのは困難だ。意見として伺う。

(1-2) プロセスについては、現在のところ白紙である。皆さんのご意見を聴きながら移転場所などを考えていくが、すでに家が建っているようなところを移転してもらうことまで考えていない。

意見をいただく中で移転場所が絞られてきたら、メリット、デメリットなどを検証し、皆さんと話し合いながら決めて行きたい。

(1-3) 勝山については、山を削って建設するというので、造成費の増嵩が見込まれ、その分はJRの補償対象からはずれて、市税を投入しなければならない恐れがある。

特別に多くの経費が必要なところへの移転は想定していない。

勝山は武田信虎の時代に合戦などがあった場所で、由緒ある史跡であり、城郭の書物には紹介される名勝地である。

また、勝山を造成した場合、面積的にも不足すると考えられる。

リニアの軌道も、勝山の北にほぼ接する場所を通過することが予定されているので、軌道の真下が移転地としてふさわしいとは考えにくい。

追加質問

(1-4) 北小は、これからも防災拠点として位置づけていくのか。別に建物を建てて、新たな避難所にしていくのか。

回答

(1-4) 学校の移転場所に応じての検討となるので、移転場所が決定した際に防災担当とも協議をし、防災機能として偏りが発生する場合は対応を検討することとなる。

また、移転場所は社会施設としての機能を加味して設定する。

(2) 上曽根

候補地はどこかないか、という話から始まったので驚いている。

(2-1) 市や教育委員会では、いくつか候補地の検討をしているのか。

説明の中で「立ち退きさせてまでの移転は考えていない」「面積的に学校機能を満たす場所であればいけない」「特別な造成等は難しい」ということが言われたが、そうなる場所は限られてくると思う。

そのような中で、何も提示せずに「どこがいいでしょう」と聴くのは、難しい話だ。

回答

(2-1) 候補地を準備してはいない。

地元の方々に「ここがいい」という考えがあれば、聴かせてもらいたいという説明をさせていただいた。

先ほどの要件に当てはまるであろうエリアを示した地図を作っているので、お示しする。(農地が集合したエリアを北部(A)、中央部(B)、南部(C)と示した地図を、プロジェクターを使い投影)

(3) 上曽根

Bの中央道より南の部分とCは想像し難く、候補地としては難がある。

防災拠点としても、人口配分としても偏っている。

自治会の分布資料を市では持っていないのか。想像し難い候補地だ。

回答

誤解を与えてしまったようだが、この地図は、あくまで学区の中で広く土地が取れる場所を示したものだ。

平地として空いているところを示しただけで、特に思惟はない。

(4) 上曾根

この3つの中の、「どのエリアにしましょうか」というところから話が始まると思う。

(4-1) 住民それぞれが、「ここが空いているから」ということではなく、そういったところから話を始めてもらったほうがいい。

回答

(4-1) 例えばAのエリアでは、国費等を投じて優良農地にしており、農振解除が難しいといったことや、他のエリアでは民間の開発があるといった、いろいろなメリットやデメリットがあるとは思いますが、皆さんの意見を聴く中で候補地の選定をしていきたい。

追加意見

そちらの姿勢は理解したが、このやり方ではそのエリアから外れた場所がいいという意見も出てしまうと思うので、ある程度導いてもらわなければ意見は言いにくい。

(5) 白井

少し話が離れてしまうかもしれないが、自分は中道南小に通学していたが、当時からひとクラス24人程度だった。

(5-1) 今の南小は10人程度と聞いているので、笛南中の周辺に南北統合小学校を建てる、あるいは南小学区の子童にバスを出すなどの案はないか。また、統合した場合、防災拠点の問題があると思うが、白井公園などを利用して避難所を設置する考えはないか。

これから子供が小学生になるので、児童数の少ない小学校の問題は、親としては気になる。

回答

(5-1) 学校の統合を考えるにあたっては、それぞれの学校の歴史もあり、7、8年は費やさなければならぬものである。

児童数の減少している現況は把握しているが、今回はリニア中央新幹線の整備に起因して、北小の子童の良好な教育環境を保つ形で単独の移転をすることを考えている。

(6) 下曾根

今の小学校は体育館を作ったばかりで新しい。

(6-1) 学校としては機能しなくなるが、避難所としての利用など、残すアイデアはないのか。

回答

(6-1) 移転についてJR側から示されている補償の内容としては、学校全体の移転となっており、現在の施設をすべて壊し、移転先に建設することについて補償金を出していただける話になっている。

例えば、現在の体育館を残した場合は、移転先の学校に建てる体育館の建設費用は、すべて市税でまかなわなければならない。

このため、今のところは、すべて建て替えを行うことを考えている。

追加質問

今の答弁はナンセンスだが、議論しても仕方がない。

(6-2) 学校は校舎、体育館、プール、校庭などがセットだと思うが、どれくらいの面積を予定しているのか。それが分かると候補が絞れるのではないか。

回答

(6-2) 現在の北小の校地面積は、1万6千平方メートルで、面積は現在と同規模を考えている。

(7) 上曽根

(7-1) リニアの工事の計画がいつで、いつまでに場所を決めるといった、具体的なスケジュールは決まっているのか。

回答

(7-1) JR東海からは、地区ごとの着工スケジュールは示されていない。

教育委員会としては、子供たちの不安を少しでも解消するよう、なるべく早く移転場所を決めていきたいと考えている。

学校の建設については、造成を始めてから完成までには約2年にかかる。

また、農振地区であることから、解除手続き等に期間を要するため、場所が決まってから3~4年にかかると考えている。

いつまでというタイムスケジュールが示せないが、できるだけ早く移転先を決めたいと考えている。

追加質問

(7-2) 工事の状況で、着手がまだまだ先、仮に20年先の話だとしても、移転は考えられるのか。

回答

(7-2) 極端な話をするとそういうことだが、リニア中央新幹線の開業予定時期は示されており、軌道工事に具体的にどのぐらいかかるか分からないが、着工は学校の移転後になる

ので、それらのことから考えれば、時間は少なくなってきたと考えられる。

追加質問

(7-3) 学校として、軌道からどのくらい離れなければならないという、規格のようなものはあるのか。

(8) 上曽根

それを言ってしまうと、「沿線の世帯は、すぐ横をばい菌が通る」とでも言っているようなものなので、答えない方がいい。

追加質問（続き）

(7-3) それは学校だからいいのではないか。その基準が分かれば、場所が限られてくる。

回答

(7-3) 軌道から何メートル離さなければならないという基準はない。

学校の環境基準といったものがあり、騒音などはいくつ以内が望ましいといったことが示されているが、JRが示している軌道から外れれば、その基準を満たすと考える。

(9) 上曽根

(9-1) 磁場や騒音で、軌道から最低何メートル離れなければならないという、距離があるのではないか。

回答

(9-1) 詳しく把握しているわけではないが、軌道して確保される、幅2.2mの範囲から外れれば、国の基準も問題ないと思う。

(10) 下曽根

南小の保護者たちも心配している。

以前、笛南中を新築する際も、いろいろな噂が飛び交い、子供が減っているので、城南中から生徒が来るのではないかなどと言われていたが、実際には中道地区だけだった。

北小は単独で移転ということで、それは仕方のないこととは思うが、中道地区だけの学区なので、どんどん子供が減っている。

(10-1) 統合について、長期的にはどう考えているのか。

学校を建てるということは、お金もかかるしいへんなことだ。

(10-2) また、リニアが何年後にくるので、それまでに学校を移転することだが、学校が転移しなければ、リニアが着工しないということであれば、何年後に候補地を決めて土地の確保も進めていかなければならないと思うが、おおむね見当がついているのか。

回答

(10-1) 笛南中の話は、学区の見直しについてと考えるが、学区の見直しは、住民地区にも影響があり、統合よりも複雑な事業だ。

長期的な視点については、学校規模の適正化という話になるが、中道地区に限らず、市全体を考えている。

現在のところ、平成22年度末に善誘館小学校が開校したことで、甲府市の学校規模適正化はひと段落ついた状況で、見直しはそこから10年ほど先としている。

現在は、今後適正化をどのようにしていくかを検討している段階だが、その中で、北小、南小、笛南中も含めて、どういう方針で進めていくかを考えていこうと思っている。

(10-2) 概ねのスケジュールについては、現在決まっていない。

用地取得なども、想定より時間がかかる恐れもあるが、開業への影響がないよう、繰り返しになるが、出来るだけ早い時期に移転をするとしか言えない。

(11) 中道北小PTA

(11-1) 今、北小の近くに児童館があるが、候補地が決まったときに児童館はどうなるのか。学校からあまり遠くなってしまうと、保護者が不安になる恐れがある。

回答

(11-1) 候補地が決まっていない状況では、近くなるのか遠くなるのかが分からないが、あまり離れてしまうのであれば、その役目を果たせなくなるので、新たに学校のそばに作り直す必要も出てくると考える。

もし、学校と児童館の距離についての規定があるのであれば、移転補償の対象にもなると聴いているが、詳細は確認が必要だ。

(12) 下曽根

Cは考えにくいということで、AかBかとすれば、それぞれのメリット、デメリットなどを提示してもらい、それを基に意見を求めたほうがいいのか。

白紙の状態で意見を求めるのでは、事務局の機能を果たしていない。

(12-1) そういうやり方(メリット、デメリットを示す)で、次回をいつごろ開催するかを決めてもらいたい。

今日いろいろ意見が出たので、地元は地元で話し合いをしよう。

回答

(12-1) 次回の日程については、本日の状況によって検討したいが、今日の意見への対応が整えば、最短では1月の中旬から下旬を考えているが、候補地案をいくつか絞って提示するとなると、もう少し時間が必要かもしれない。

候補地案を先に示したほうがいいのかという意見だが、自由に意見を求めたほうがいいのかという

考え方もあろうかと考え、今回はこのような形にした。

今日の意見をまとめて、候補地案を示せる段階になったら、ご意見のとおりに進めて行きたいと考える。

(13) 上曽根

まだ候補地の意見が出ていない。

(13-1) やはり児童館があるわけだから、児童館と隣接、あるいは至近距離に設置するのが一番素直な考え方だ。

回答

(13-1) 候補地のご意見として承った。

(14) 上曽根（下区）

(14-1) 統合はせずに単独で移転する、バスを出すことは予定していないということであれば、自然と、現在の場所の付近しかないと感じられる。

下曽根も白井も、児童のことを考えれば、互いにもっと近くに、と考えると思うが、お互いに譲歩するとなると、現在地の近くということになる。

下曽根、白井の児童は、朝7時頃には家を出ているという話も聴いている。

回答

(14-1) 候補地のご意見として承った。

(15) 下曽根

地図を見てわかるとおり、下曽根から白井は約4km強あり、北小はその中心地にある。

下曽根の児童は7時15分に集団登校するが、約40～50分かかる。

(15-1) バスの運行は考えていないとのことだが、他の地区でバスを運行しているところはあるか。その距離と時間はどのくらいか。

Aになれば、1時間くらいかかることになる。

一番に考えなければならないのは、児童が安全に通学できることだと思う。

バスを出す考えはないのか。

回答

(15-1) 現在の児童の通学距離についても、下曽根で最長約3.4km、白井で最長約2.4km程度と把握している。

スクールバスは、千代田地区で運行している。

距離もあり、山坂道を通学しなければならないことが理由だ。

追加質問

(15-2) 通学に1時間以上かかっても、バスを出す考えはないか。

回答

(15-2) 即答はできないが、市全体のバランスを見る中で検討したい。

(16) 下曽根

子供が朝7時15分に出て、帰ってくる時も、この季節ではもう暗くなってくる。

防犯の面においても、これ以上通学距離が長くなることは怖いこと。

通学路も畑が多く、人気がないところが多い。

(16-1) そういうことも考慮して、候補地を挙げてほしい。

回答

(16-1) 通学路にも配慮する。学校建設の際には、通学路整備も必要と考える。

(17) 白井

AかCになった場合、小学校1年生の児童が歩ける距離ではない。

中学生も自転車で通っている距離を歩かせるのは、親の不安は大きい。

通学路を整備するといったが、どこを通っても畑の中で、人はいない。

千代田にはバスがあるのに中道にはない。

甲府の市内には、こんなに畑が並んでいる場所はないと思う。

(17-1) 親とすればAとCはとても危険で怖い。バスの考えがないのであれば、現在地の周辺を検討するのが最適と考える。

小さな子供は、かばんを持って長い距離を通学することも大きな負担なので、考慮してもらいたい。

回答

(17-1) 候補地のご意見として承った。

(18) 上曽根

現在、2年生の子供がいるが、児童館を利用している。

学童保育というと、一般的には学校に隣接または学校内にあるイメージだ。

(18-1) 要望としては、現在の児童館を使い、Aのエリアに移転をしてもらいたい。

Aは軌道に近く、防音壁の区間と聞いているが、1時間に何本も通過するという事も聞いている。

(18-2) 授業への影響もあるので、フードをかけるよう、市からJRに要望できないか。

回答

(18-1) 候補地のご意見として承った。

(18-2) 要望ということで、確認をさせていただく。

(19) 白井

候補地については白紙だと説明があり、A、B、Cの想定エリアが示された。

(19-1) 教育委員会として、その先の考えはあるのか。

他の説明会に参加した際は、行政側が詳細な案を持っていて、委員がいろいろな意見を出したが、結局意見が通らず白紙に戻ってしまったことがあった。

最終決定については教育委員会の責任になると思う。

この会を受けて、第2回、第3回となってくるのではと思うが、どうイニシアティブをとるかということで、案があるなら出して欲しい。

地域住民の声を聞くということは、これからの時代、非常に大事なことだが、行政側の考えがどの辺にあるのか。

(19-2) また、タイムスケジュールについてはまだ煮詰まっていないとのことだが、ある程度詰めるべきだと思う。

住民とすれば、いつまでにこれをするといったことが見えなければ、非常に不安だ。

いくらか含みを持たせてもいいと思うので、出してもらいたい。

また、10年、20年先に、どのように児童数が推移していくのかということを考えると、おそらく増加は考えられない。

(19-3) 今回、統合はリンクしないとのことだが、そのことも含めて、移転の先の問題（適正規模化等）についても、できれば次の説明会で、説明していただきたい。

(19-4) 候補地の案としては、児童の通学の安全、距離、時間を考えると、中心的なBの中で選定してもらいたい。

回答

(19-1) 言われたとおり、最終的に決めるのは教育委員会、市である。

いろいろな意見をいただいた中で、候補地案が出せれば出し、数箇所に絞込みができた時点で、それぞれのメリット、デメリットを示しながら、今回のような場でどうしても決まらない状況であれば、メリット、デメリット等を勘案しながら、最終的には市のほうで決定していく。

(19-2) 大まかなスケジュールについては、答えになるか分からないが、農用地になっている土地はその規制をはずす。

それには1年程度必要と考える。

その後、地権者交渉を行う。

この部分はどのくらい係るかは不透明だが、半年から1年は必要と考える。

そして、買収が済めば着工できるようになり、造成、建設で2年程度かかると考える。

つまり、移転地が決まってから最低でも3～4年はかかると考えるというところが、現

在のところのスケジュール感だ。

(19-4) 候補地のご意見として承った。

(20) 上曾根

スケジュールのことが何度か出ているが、具体的でなくてもいいので、いずれは着手しなければならないのであれば、いつまでに移転したいといった、目標を示せないか。

(20-1) 候補地の決定など、漠然とでもいいので、だいたいいつまでにそれをやって行きたいかを、示してもらいたい。今後そういう進め方を望む。

場所についてもいろいろな希望があると思うが、スケジュールがないと、ずっと平行線になる恐れがある。

いつまでに決めなければということがあれば、妥協案も出やすいのでは。

もっと議論しやすくなる。

回答

(20-1) ご意見として承った。

(21) 白井

(21-1) 要望だが、北小の移転の際には、現在近くにある交番の移転も検討してもらいたい。
小学校の近くに交番があるべき。

回答

(21-1) ご意見として承った。

(22) 地区自治連会長

考え方はいくつもあるかと思うが、住民の皆さんの意見を一番聴きたいという主旨だと思う。

長期的なことを考えれば、南小のことも課題だが、統合についてはまだ将来の話で、今はまだ考えていないと思う。

そのような中で、早く候補地を見つけていくが、児童が一番安心して勉強のできる場所であれば、どこでもいいと思う。

リニア通過時の騒音が77dBといわれているが、フードがかかれば約14dBほど低下するので、勉強がしやすくなる。

リニア対策協議会としては、フードをかけてもらうよう要望していくことで一致している。

エリアについては、それぞれの場所に遠くなる場所は発生してしまうが、それはこれから協議していく。

タイムスケジュールについては、いつまでにというものを示してもらったほうが、早く進むと考える。

環境の整備などは、これからだんだんと考えていくので、住民の意見をどんどん言ってほしい。

まずは、北小の移転先はどこがいいかという話からはじめていこう。

回答

本日いただいた意見は、教育委員会に持ち帰り、十分検討した上で、報告できることは報告していきたい。

6 その他

次回は1月の中旬から下旬の間に開催したいと考えている。

7 閉会